

日八日の朝日會館重役を訪問要請せらるる事ありき。
 辭の接せらるるより、その日の午後、従業員側代表正谷村正月、
 書せらるる其の、重役會開辦前、各重役を懇請して要求の貫
 刺を發見したの事。正月六日、衆議委員會を閉鎖して、その
 内閣の調査を遂げたる事。麻生重善を要求せんを非
 び、反對各派聯合會の特派員調査の請求委員中、一名を新選
 選委員として十三名の委員を選定し、且、第一の提案として
 其の議案を答へて、同月三十日會館側との提案並に交
 渉する。従業員側の代表として、麻生重善と余江中、の謝文
 なる事ありき。
 是より此の繼續舉げられ、その事として、麻生重善の接せらるる
 支離の件、正月十一日より實証の進行に至る。謝文なる事
 事更の線、謝文善風をへ、同事更中、一々、且、公村二日

法人謝議會臨岡出張所

法人謝調會福岡出張所

會社側に於ては五月十四日日本社に重役會議開催の上、従業
 員側の要望並に各私鐵會社の待遇條件調査の結果を報告し
 て、歎願事項に就き協議のところ、左の通決定したので、翌
 十五日午後三時従業員代表十三名を本社事務所に招き、右決
 定の内容を詳細説明して之に依り解決を要望したのである
 が、其の内賃金に關し、
 従業員側の要求たる一日給三十錢の値上と會社側重役會議
 の決定たる一日給十五錢の主張とに就き各々自説を固持し
 て譲らなかつたのであつたが、漸やく双方譲歩して一日給
 平均二拾錢の値上にて次の通解決することゝなつたのであ
 る。

十二、解決條件

第一給料値上に關する件